


The legend of OBASAN



ここにいます
「がん電話情報センター」
あなたの知るを助けます

ancer

(全国一律の電話料金でご利用いただけます。
PHS、一部のIP電話からはご利用いただけません。)

おーこここにじょうほう
0570-055224
受付時間：平日 12:00~17:00
(土日・祝祭日・年末年始・夏期休業を除く)

街を、あるいは農村や溪谷を二つ

そしてその真ん中に立てば橋は、

気が持ち良い。

中辺りで気付いた。橋の上に立つ

と必ず川幅分の眺望が開けてい

るからだ。その空の広さ、解放感

が気持ち良い。

そんな橋好きだが、好きなもう

一つの理由に、今日、聖橋の真ん

中辺りで気付いた。橋の上に立つ

と必ず川幅分の眺望が開けてい

るからだ。その空の広さ、解放感

が気持ち良い。

そんな橋好きだが、好きなもう

一つの理由に、今日、聖橋の真ん

中辺りで気付いた。橋の上に立つ

と必ず川幅分の眺望が開けてい

るからだ。その空の広さ、解放感

が気持ち良い。

そんな橋好きだが、好きなもう

一つの理由に、今日、聖橋の真ん

中辺りで気付いた。橋の上に立つ

「伝説のおばさん」のオススメ ④

光景を 二つに分かつ橋



Akiko Hashimoto

に割って見せている。その左右の
光景は、街も農村も溪谷までも、
しばしば大きく異なる。それが何
とも言えず面白い。

橋の向こうとこちらでは光景
が違う分、生活感も空気感も異な
ることも多いのだろう。

栃木県足利市の郊外で生まれ
て育った。足利市を東西に横切っ
て、渡良瀬川が広々と流れている
のだが、まだ本場に小さかった頃
の私は、足利の街には川を挟んで
異次元の世界が存在すると思っ
込んでいた。片方は整然とした近
代で、片方は入り組んだ昔の街、
というわけである。その「川を渡
ると、そこには違う世界がある。
私はどちらの街も大好き」という
想いは、橋の途上で空を見た解放
感で一度気持ちが洗われ、渡り切
る頃また別の心持になる、切り替
えの心地よさを幼心に感じてい
たのか。

現生から彼岸へ渡って逝った
人たちも、別れ間際の悲しみや苦
しみから、橋の真ん中でさわやか
に解放されて、心穏やかな安寧の
世界に踏み出して行ったのかな。
きつとそうだ。



NPO法人血液情報広場・つばさ理事長、
がん電話情報センターCTIS相談主任、
日本骨髄バンク(骨髄移植推進財団)常任理事

橋本 明子